



小劇場
幕形式
©Shigeo Ogawa



小劇場
反射板
©Shigeo Ogawa



小劇場
客席
©Shigeo Ogawa



小劇場
すのこ



小劇場
マシンピット



大スタジオ
吊物バトン
©Shigeo Ogawa



大スタジオ
吊物バトン



外観

©Shigeo Ogawa

建 築 主	沖縄県那覇市
設計・監理	香山・久米・根路銘設計共同体
施 工	國場組・大木建設・金城キョウ建設・コンダ工業共同企業体
敷地面積	9,736.54㎡
建築面積	5,994.22㎡
延床面積	14,576.26㎡
階 数	地上6階、地下2階
構 造	SRC造一部RC造、S造
竣 工 年	2021年6月
開 館 年	2021年10月
所 在 地	沖縄県那覇市久茂地3-26-27
客 席 数	大劇場 1,602席(うち車いす席8席含) 小劇場 最大300席(うち車いす2席含) 平土間利用時最大収容人数400人

建築概要

沖縄地域全体を牽引する舞台芸術の拠点である本施設は、大劇場と小劇場の2つの劇場を有する。海中をイメージした大劇場は約1600席あり、反射板設置時には、客席空間の天井・壁と連続した、舞台と客席を分断しない一体感のある計画となっている。首里城をイメージした小劇場は約300席の多目的ホールで、平土間利用、共用ロビー空間との一体利用などが可能な可変性のある劇場である。劇場の他には、大スタジオ、小スタジオ、練習室を備える。

舞台機構設備概要

■大劇場

間口19,998mm~18,180mm、奥行18,300mm(舞台前端~舞台奥)、15,100mm(舞台前端~ホリゾント幕)、高さ12,284mm~9,000mm
スピーカ昇降装置3台、可動プロセニウム(ブリッジ)、プロセニウムサスペンションライトバトン、緞帳バトン、引割緞帳バトン、暗転幕バトン、ディザーパーネル、ウイングパネル、ライトブリッジ2台、静音型可変速吊物バトン23本(幕バトン含む)、サスペンションライトバトン2本、アッパーホリゾントライトバトン、大黒幕バトン、ホリゾント幕バトン、音響反射板一式、東西幕、オーケストラ迫り、客席ワゴン、通路ワゴン

■小劇場

間口14,600mm~9,090mm、奥行8,600mm、高さ8,830mm~7,272mm
スピーカ昇降装置3台、可動プロセニウムパネル、ウイングパネル、引割緞帳バトン、静音型可変速吊物バトン13本(幕バトン含む)、ボーダーライトバトン2本、サスペンションライトバトン3本、アッパーホリゾントライト、大黒幕バトン、ホリゾント幕バトン、音響反射板一式、東西幕レール、昇降床、客席ワゴン、通路ワゴン、舞台ワゴン

■大スタジオ
吊物バトン4本



大劇場
反射板
©Shigeo Ogawa

大劇場の音響反射板は舞台演出空間を有効に活用するため舞台後方に格納。天井反射板を一部可変式とすることで反射板形式時の緞帳使用も可能とした。小劇場はウイングパネルにより5間から8間の間口に対応する。大・小劇場とも舞台前方には迫りと客席ワゴンを備え、大劇場では前舞台・客席・オーケストラピット、小劇場では前舞台・客席・平土間など多様な空間を構成できる。



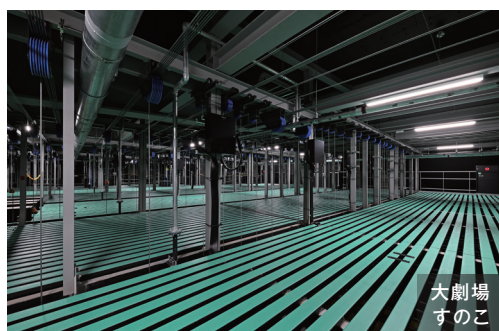
大劇場
反射板
©Shigeo Ogawa



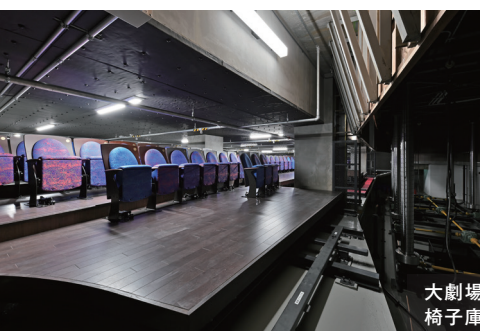
大劇場
客席
©Shigeo Ogawa



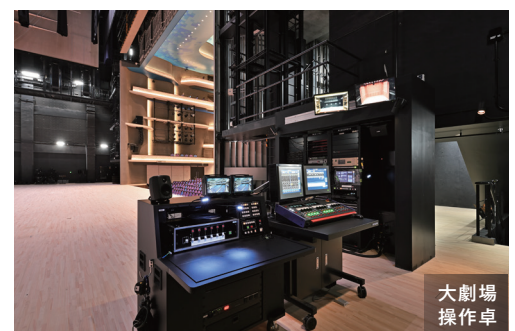
大劇場
マシンギャラリー



大劇場
すのこ



大劇場
椅子庫



大劇場
操作卓